

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 19日

宮崎市長 殿



提出者

住所

宮崎市大塚町池ノ内1166

氏名

旭洋建設株式会社

児玉 清和

電話番号

0985-53-1524

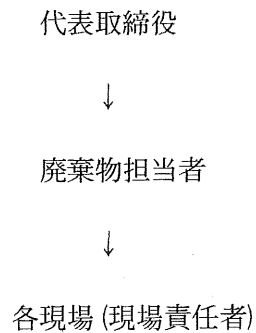
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭洋建設株式会社
事業場の所在地	宮崎市大塚町池ノ内1166番地
計画期間	令和 <sup>5</sup> 4年4月1日～令和 <sup>6</sup> 5年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	特定建設業
② 事業の規模	元請完成工事高(令和4年度) ¥ 494,000,000
③ 従業員数	23名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルト・コンクリート殻→中間処分場(破碎)→再生材 廃プラスチック→中間処分場(破碎圧縮固化)→再生材 木くず・紙くず→中間処理場(破碎)→再生材 汚泥→中間処理(脱水)→埋立(管理型)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和 4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻
	排 出 量	2468 t	2277 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻
	排 出 量	2400 t	2200 t
	(今後実施する予定の取組) アスファルト殻・コンクリート殻については、中間処理場で破砕して再生材として再利用した。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 必ず分離して確認している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も現状どおりの処理を行う予定である。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻
	全処理委託量	2468 t	2277 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用者への処理委託量	2468 t	2277 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用発生材は、中間処理工場に搬出し、破碎して再利用できるものについては、再生材として再利用した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻
	全処理委託量	2400 t	2200 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2400 t	2200 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状どおりの処理計画とする。		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	建設汚泥
	排出量	24.9 t	16.4 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	建設汚泥
	排出量	20 t	15 t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラは、中間処理場で破碎をして再利用した。 建設汚泥は中間処理で脱水し、管理型埋立処分場での処理を確認した。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 必ず分離して確認している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も現状どおりの処理を行う予定である。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	建設汚泥
	全処理委託量	24.9 t	16.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	24.9 t	16.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用発生材は、中間処理工場に搬出し、破碎して再利用できるものについては、再生材として再利用した。 建設汚泥については、管理型処分場への搬出を確認している。		



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	建設汚泥
	全処理委託量	20 t	15 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	20 t	15 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状どおりの処理計画とする。		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
代表取締役		
↓		
廃棄物担当者		
↓		
各現場 (現場責任者)		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度 (令和 4年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	木くず 紙くず
	排出量	81.9 t 2.5 t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	木くず 紙くず
	排出量	80 t 2 t
	(今後実施する予定の取組) 木くず・紙くずは中間処分場で破碎して再利用した。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 必ず分離して確認している。	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も現状どおりの処理を行う予定である。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	全処理委託量	81.9 t	2.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	81.9 t	2.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用発生材は、中間処理工場に搬出し、破碎して再利用できるものについては、再生材として再利用した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	全処理委託量	80 t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	80 t	2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状どおりの処理計画とする。		
※事務処理欄			

